

関係各位

宮城県立古川支援学校
校長 服部 克弘

学校評価のためのアンケートについて

日頃より、本校の教育活動に御理解と御支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「令和5年度学校評価のためのアンケート」の結果を下記のようにまとめましたのでお知らせいたします。

今後も全職員で、本校の学校教育目標に向けて、児童生徒のために力を合わせてまいりますので、変わらぬ御理解と御支援をお願いいたします。

本校の学校教育目標

児童生徒一人一人の特性や発達段階に合わせた教育を行い、自立や社会参加をめざして、人との関わりを大切にしながら、健康で心豊かな児童生徒を育成する。

具体目標(目指す児童生徒像)

- 自ら学び自ら行動する児童生徒 (知「確かな学力」の育成)
- 仲良く助け合う児童生徒 (徳「豊かな心」の育成)
- 明るくたくましい児童生徒 (体「健やかな体」の育成)
- 自分らしく成長していく児童生徒 (自立「自立する力」の育成)

1 アンケート項目及び回収率

本校の「本年度の努力点」に沿った形で質問項目を設定しております。質問項目は、教職員アンケート24問と自由記述欄、保護者アンケート15問と自由記述欄としました。

保護者アンケートの回収率は約71%(141名/198名)でした(1家庭1回答)。

2 アンケートの結果について

アンケートの結果から、全体的に令和5年度の学校教育目標に向けての取組はおおよそ達成できたと考えます。今後も継続していくよう努めてまいります。

生活習慣に関する内容が、昨年度と比べるとよい結果となりました。調理実習、歯磨き指導など、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためにとっていた教育活動への制限がほぼなくなったことが要因の一つではないかと思えます。

一方で、ICT(Information and Communication Technology)の活用に関する項目が少し低い数字でした。児童生徒は、パソコンやタブレットなどに興味があるので、授業の中でそういった機器を使って将来のために教えてほしいと思う保護者が多いことが伺えます。また、地域の小学校、中学校から一人一台端末での活用状況を見聞きすることで、特別支援学校での取組がどうなっていくのか知りたいという思いもあるのではないのでしょうか。

本校では、一人一台端末という状況での指導にはなっていないものの、学校でタブレット端末やPCを使った授業は増えています。ただ、保護者の皆様へその取組の様子を知らせることが十分でなかったという反省があります。学校便り・学部便りや教育相談などの機会を捉えてもっと学習の様子をお知らせできるように努めます。

施設・設備面については、本校PTAで署名活動として取り組んでいた特別支援学校設置基準が、令和5年4月から施行されています。本校では、旧志田小学校での体育の授業や高等部作業製品販売会の実施など取組を進めてきました。しかしながら、教室やプレイルームの不足、図書室がないなど、教育環境の充実にはまだまだ厳しい状況です。児童生徒の安全な教育活動を第一とし、着実な整備を進めていくことができるよう努力してまいります。

担当

主幹教諭 木村 毅

TEL 0229-26-2338

学校評価のための保護者アンケート(1~8) 1/2

設問 1 ~ 8

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

1 学校は特別支援教育の専門性を生かして、教師同士で連携を図りながら、お子様の特性に応じた支援・指導をしていると思いますか。



2 お子様は学校生活に期待感をもって通学していると思いますか。



3 お子様の個別の指導計画について、丁寧な説明があり、内容も妥当であると思いますか。



4 お子様は相手の気持ちに気付いたり、思いやりたりする心が育ってきていると思いますか。



5 学校生活を送る中で、お子様に望ましい生活習慣が身につけてきていると思いますか。



6 学校は避難訓練や交通安全教室、運動や調理などの活動を通して、安全教育の充実を図っていると思いますか。



7 学校はお子様の安全を守るために、災害や不審者等への対応、プライバシーの保護などに配慮していると思いますか。



8 学校は児童生徒同士や教師との関わりの中で、お子様の個性を伸ばそうとしたり、お子様に自信を持たせようとしたりする支援・指導ができていると思いますか。



■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ 分からない

学校評価のための保護者アンケート(9~15) 2/2

